

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：R4年3月7日
研究課題名：食物アレルギーの発症における腸内細菌叢の役割の解明
研究期間：倫理審査承認後～西暦2025年6月30日
研究対象：専門医師により食物アレルギーと診断されたお子さん 予防接種等で受診した食物アレルギーのないお子さん
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（便、アンケート） 上記材料の対象期間 西暦2017年5月～2025年6月
意義・目的： ヒトの腸は食べ物のほかに腸内細菌や病原性細菌を含む多種多様な抗原に晒されている内蔵です。近年、腸内細菌は人体で最大の免疫を司っていると考えられ、腸内細菌の乱れが喘息や肥満など病気と関連することが報告されています。食物アレルギーに関しても、患者群と健常群での腸内細菌叢の違いが報告されていますが、日本と欧米では食習慣が異なり、腸内細菌叢の構成が異なるため、海外の結果を日本でそのまま適応することは難しいと考えられます。 本研究では食物アレルギーを発症する患者群と健常群での比較を行い、食物アレルギーを発症するメカニズムの一端を解明するため、食物アレルギー患者群と健常群における腸内細菌叢の多様性や菌種、菌量の比較を行う研究を行います。
方法： 食物アレルギー群：IgE 関連の小児食物アレルギー患者を対象とします。食物負荷試験陽性または小児アレルギー診療に従事する医師によって明らかに食物摂取による即時型症状と考えられ、食物特異的 IgE が陽性であることが確認されている患者さんです 健常群：一般外来を受診した小児患者のうち、疾患群と性別および年齢をマッチさせ、健常群とします。 いずれの群も親権者から研究参加に関する同意をいただきます。 文章による同意をいただいた患者に食生活によるアンケートを行います。また、便、口腔粘膜、鼻汁を採取し、次世代シーケンサーによる常在細菌叢解析を行い、食物アレルギー群と健常群の間で比較します。
問い合わせ等の連絡先 茨城県つくば市天久保1-3-1 筑波メディカルセンター病院小児科 林 大輔 029-851-3511